

ふれあいネットワーク

No.124

しあわせ

2024

8

AUGUST

編集・発行 一宮町社会福祉協議会

発行回数 年3回



地震・津波・水害

いつ起こるか分からない

災害に備えて

住 所 一宮町一宮1865 電 話 0475-42-3424
E-Mail ichinomiya-shakyo@topaz.ocn.ne.jp

能登地震

震度7の災害の大きさから 見えてきたもの



輪島朝市跡

輪島市災害ボランティアセンター（輪島市災害たすけあいセンター）での主な仕事は、災害ごみ（がれき、土砂など）の搬出や大切な家具を運び出すなど生活に困っている被災者とボランティアとしてお手伝いしたい方々をマッチングし、ボランティア活動を円滑に進めることです。まず、電話で申し込みをされた方や現地調査をして困っている方の要望（ニーズ）を聞き取り、その内容を確認します。次に専門家が現地に行き作業量を確認し、作業可能な日程とボランティアの人数を決定します。当日ボランティア

自助・共助・公助の大切さ

元日に北陸地方を襲った能登半島地震が発生してから約7ヶ月が過ぎ、千葉県内の社会福祉協議会から石川県内2市3町のボランティアセンターの応援に10回以上職員を派遣しています。一宮町社会福祉協議会からも6月15日から21日まで能登半島の北部に位置する石川県輪島市に行ってきました。

輪島市は最大震度7が観測され、古い家屋が多く、ほとんどの家屋が倒壊したり傾いたりしていました。また、観光地として有名な輪島朝市周辺では火災が発生し、約200棟以上が全焼しました。すでに6ヶ月半が経っていましたが、解体・撤去作業が進んでいない様子でした。その原因として、能登半島は海に長く突き出ており、山も多く、交通アクセスが少なく、道路の寸断が多かったため、特に奥能登地方は復旧に時間を要したようです。



大切なものは何かな

土師 裕太

アにご協力いただける方々の人数を調整し、各現場に行つてボランティア活動を行つていただきます。

私たちは電話申し込みの対応や現地調査でのニーズの聞き取り作業、作業量や日程の調整、当日の活動場所への送迎を行いました。

今回災害ボランティアセンターの運営をお手伝いして感じたことは、いつ発生するか分からない千葉県東方沖地震などで私たちが住んでいる房総半島も、能登半島のように復旧復興に相当時間がかかる大規模災害が発生することを想定し、日頃から避難所の確認や備蓄品の用意（自助）、地域住民との助け合い（共助）、国や地方自治体による避難状況の提供や避難所運営の体制整備（公助）がとても大切だと改めて実感しました。

みんなで楽しく作り・直接お届け

町内に住所のある75歳以上の一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯で、心身の障害等の理由により買い物や食事をすることが困難な方や見守りを必要とする方を対象にボランティアの皆さんが作ったお弁当をお届けしています。

このお弁当を届ける 配達ボランティアを募集しています。

配達日等 月3回（8月、9月は除きます。）

木曜日（祝日の場合は除きます。）

11時30分から30分程度

一宮町社会福祉協議会 電話（42）3424



いつもありがとう

6月22日、袖ヶ浦市臨海スポーツセンターで行われた、袖ヶ浦市社会福祉協議会主催の令和6年度袖ヶ浦市災害ボランティアセンター運営訓練に参加しました。

当日は袖ヶ浦市災害対策コーディネーター連絡会をはじめ、各協力団体、市役所職員、県内市町村社協職員が参加し、ロールプレイを行いました。運営訓練後は意見交換を行い、それぞれの立場から思うことや情報共有ができて有意義な時間となりました。

災害センターを立ち上げたとき

研修したことを役立てて

大規模災害等が発生した際に災害ボランティアの受け入れ及びマッチング等を的確に行えるよう職員等のスキルアップを図るとともに、災害ボランティアセンター運営マニュアルの確認を行うことを目的とした、袖ヶ浦市災害ボランティアセンター運営訓練に参加しました。

訓練は運営側とボランティア側に分かれて行われ、運営側が受付・オリエンテーション・マッチング（活動内容確認・打ち合わせ・報告・資材貸出返



さあ、出発



この活動誰か行ってくれますか

却・救護と分かれており、ボランティア側が順番に回り体験しました。体験後に振り返りをし、今後に向けた意見交換を行いました。

一宮町社会福祉協議会でも毎年災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を行っています。今回経験した内容を参考にし、実際に災害ボランティアセンターが立ち上がった時に役立てたいと思います。

森 友季菜

7月3日、一宮町つくも会単位クラブ会長会議にて、茂原警察署交通課の立川様をお招きし、高齢者交通安全研修（いきいきキャンペーン2024）を行いました。

つくも会

交通事故から

身を守ることは—

交通事故から身を守るための講話を聞き、身の引き締まる思いです。自転車に乗車するときは、ヘルメットの着用を義務付けることが重要とのこと。転倒した場合に、頭を守ることで死亡のリスクが小さくなるとのことです。安全に用心しましょう。ヘルメットを購入した場合には、一宮町より2分の1の補助金が出るとのこと。又免許返納した場合2万4千円のタクシー



アンケートをお願いします



ボールを触れますか

券が出るとのこと、素晴らしいことです。（どちらも対象となる条件あり）又二日酔いでも酒気帯びとのことなので気をつけましょう。夜には車の構造上右側からの横断者は見づらいとのこと。横断者は反射板等を付けて戴くことを推奨いたしますとのことでした。夜間は充分に注意を。

志田 馨



趣味活動を通して地域の繋がりを

生活支援体制整備事業では、趣味活動を通して地域の繋がりをづくりの一環として健康麻雀の体験会を開催しました。この体験会をきっかけに同好の士が集まり、サークル活動が始まりました。

「趣味」には孤立防止や認知症予防の効果があると言われています。新しい趣味や、昔の趣味をもう一度、始めてみませんか。

第8回

一宮町ボランティア 福祉子ども フェスティバル

を開催します。

開催日

令和6年10月13日(日)

場 所

一宮町保健センター・
一宮町保健センター前駐車場

日 程

開会 10:00～
閉会 13:30

※実施・中止いずれも7時30分に、
防災行政無線でお知らせします。

ふれあい昼食会のお知らせです

町内に住む75歳以上のおひとり暮らしの皆さまをお招きして、ボランティアによる食事と演芸を楽しんでいただくことを目的として開催しておりましたふれあい昼食会は、10月24日(木)一宮町中央公民館(大会議室)での開催を予定しています。

対象となる皆様には、改めてお知らせいたします。

ご寄附 いただきました

一宮町婦人会
300,000円



令和5年度社会福祉協議会会計決算

(単位: 円)

収 入		支 出	
会費収入	1,770,500	人件費支出	56,597,930
寄付金収入	143,613	事業費支出	47,758,789
経常経費補助金収入	25,161,235	事務費支出	5,645,238
受託金収入	53,414,500	貸付事業支出	50,000
貸付事業収入	82,000	助成金支出	1,580,000
事業収入	64,800	負担金支出	60,400
介護保険事業収入	27,787,770	固定資産取得支出	550,000
障害福祉サービス等事業収入	6,371,490	積立資産支出	587,250
受取利息配当金収入	1,086	その他の活動による支出	2,137,470
その他の収入	646,966	当期末支払資金残高(次年度繰越金)	32,245,830
前期末支払資金残高(繰越金)	31,768,947		
合 計	147,212,907	合 計	147,212,907

令和6年度社会福祉協議会会計予算

(単位: 円)

収 入		支 出	
会費収入	1,825,000	人件費支出	64,423,000
寄付金収入	133,000	事業費支出	43,948,000
経常経費補助金収入	27,085,000	事務費支出	6,980,000
受託金収入	54,929,000	貸付事業支出	100,000
貸付事業収入	100,000	助成金支出	1,630,000
事業収入	78,000	負担金支出	61,000
介護保険事業収入	27,885,000	積立資産支出	621,000
障害福祉サービス等事業収入	6,348,000	その他の活動による支出	2,309,000
受取利息配当金収入	10,000	予備費	956,000
その他の収入	226,000		
前期末支払資金残高(繰越金)	2,409,000		
合 計	121,028,000	合 計	121,028,000

令和6年度

結婚50周年記念 贈呈について

対象者

昭和49年9月1日～昭和50年8月31日
までにご結婚された方

申込み先

一宮町社会福祉協議会に申込用紙を
ご用意いたします。

印鑑をご持参の上お越し下さい。

※一宮町に本籍がない方は、本籍地の戸籍謄本が
必要です。

締切日

令和6年9月17日(火)



お問い合わせ

電話(42)3424 一宮町社会福祉協議会

編集後記

元旦早々に能登半島で今までにな
い大きな地震が起きました。私たち
のところでも、思いがけない強風
雨や震度1～3にかけての地震が
起っています。災害が身近に心配
されます。

今回の能登半島の地震も復興に時
間がかかり、社協からも被災地に復
興の支援に行かれました。災害はい
つ起こるか分かりません。その災害
が起きた時のことを考え、ローリン
グストックで日常使いをしながら備
え、出来ることから始めていきたい
と思います。

柳澤 伸子

スマートフォンを便利に安全に、災害時にも活用できるように シニア向けスマートフォン教室開催します!!

対 象

町内にお住まいの65歳以上の方

日 時

令和6年9月5日(木)・12日(木)・19日(木) 1時30分～

場 所

一宮町社会福祉協議会 2階会議室(一宮町一宮1865番地)

講 師

東金パソコン教室キュリオシティ 市東憂子氏

※応募者多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

